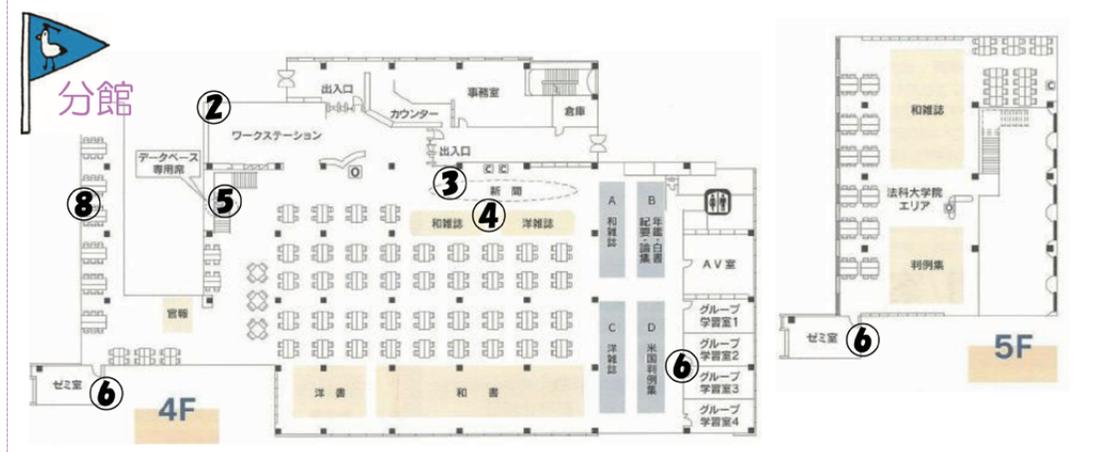
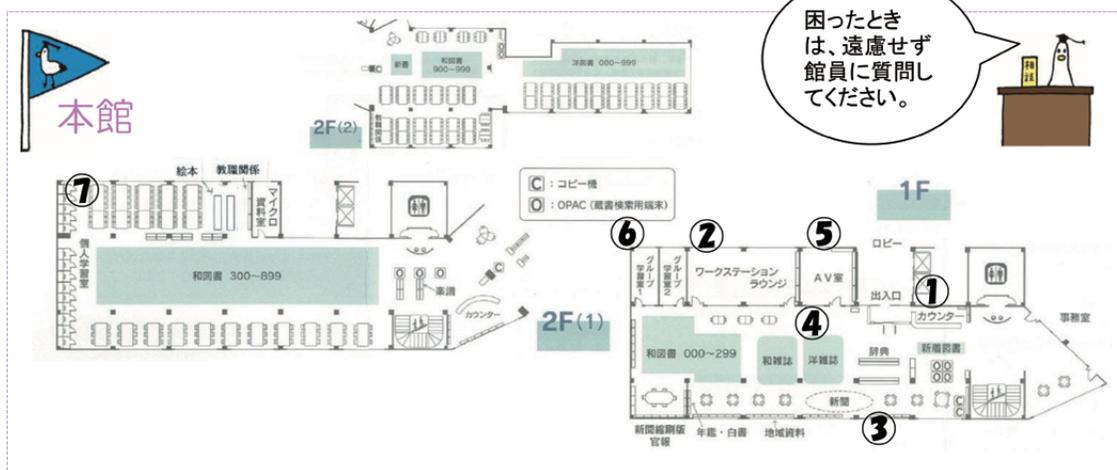


2~3 ページで紹介されている場所を確認しよう！



インターネットで資料を取寄せたい・貸出状況を確認したい

館外でも!?
【マイライブラリ】

マイライブラリは、図書館の個人専用ページです。資料の取寄せや予約、貸出状況の確認、貸出期間の延長などができます。その他にも便利な機能が充実！
詳細は、館内の掲示をご覧ください。ご利用には申請が必要です。

【1 ページ、向井先生の「読書の喜び」で紹介された図書の所蔵情報】

- 『風が強く吹いている』三浦しをん 著 新潮社 913.6/MI (本館)
- 『舟を編む』三浦しをん 著 光文社 913.6/MI (本館)
- 『レ・ミゼラブル』ヴィクトル・ユゴー 著
 - ・「河出世界文学大系」井上究一郎 訳 河出書房新社 908/KA/32~34 (本館)
 - ・「世界文学全集／綜合社編」鈴木信太郎、坪井一、宮治弘之 訳 集英社 908/SE/15~16 (本館)
 - ・「ヴィクトル・ユゴー文学館」辻昶 訳 潮出版社 958/HU/2~4 (本館)

ささやき

今回はカーモと一緒に図書館(本館&分館)をご案内しました。39号でも本館を紹介していますので、ぜひご覧ください。バックナンバーは図書館にあります。39号・41号を片手に、図書館を探索してみることをお勧めします。図書館にGO!&アクセス！

平成25年4月1日 発行
編集 図書館だより編集委員会
発行 白鷗大学総合図書館
〒323-8585 栃木県小山市大行寺1117
ホームページ <http://hakuoh.jp/library/index.html>
印刷 株式会社尚印刷所

図書館だより

第41号 2013. 4

HAKUOH

白鷗大学

読書の喜び

教育学部教授
向井千代子

現在、小山市民を中心に読書会をやっている。メンバーは私を含めて7人で、全員熟女と呼ばれる年齢層の人たちである。読書会といっても固いものではなく、おしゃべりに集まるようなもので、時になかなかテーマとなる本の話に行かないのでハラハラすることもある。

前は三浦しをんの『風が強く吹いている』、その前が『舟を編む』であった。合わせて同じ著者の作品を何冊か読んだ。彼女は若い作家であるが、私たち高齢層にも訴える内容を持っている。『風が強く吹いている』は箱根駅伝の話である。青年たちが走りながら、いろいろなことを考え、それなりの認識に達するところには一番面白かった。走るという行為の中に深い人生観や哲学的な思想が含まれているところが非常に新鮮であった。

私は今「文学」を教え、自分でも俳句や詩を書いているが、私をここまで連れてきたのも文学の力である。私は小さい頃から読書好きであったのだが、その理由は当時自分の家庭環境にうまく適応できなかったからである。最初、文学は私に過酷な環境からの逃げ場を用意してくれた。家に帰ると、追い立てられるように家事をさせられるので、なるべく学校に遅くまでいようと、暗くなるまで図書館にこもっていた。好きな本を読み漁るうちに、本の中に盛り込まれた理想的な価値観に影響され、子供心に、周囲の大人たちを批判し、冷たい目で見るようになった。言葉で表現することはなかったが、子供の頃の私は、『ガリバー旅行記』を書いたスウィフトのように皮肉屋で、人

間嫌いだった。この世の中は理想的な世界ではない。しかしその世の中を少しでも理想に近づけるべく努力するのが人間だ、という考えを子供時代の読書を通じて学んだ。チャールズ・ディッケンズ、マーク・トウェイン、ヴィクトル・ユゴー（特に『レ・ミゼラブル』）など何回読んだかわからない。

今はテレビ・ゲームや漫画など、読書以外にも楽しみの糧がたくさんあるので、読書好きの大学生というのは少ないかもしれない。だが、誰かが「いい」といった本をちょっと読んでみたらどうだろうか。またサークルなどで同じ本を皆で読んできて、語り合ってみたらどうだろうか。あるいは、孤独を好む人は、読書ノートを作って、そこに自分の感想を書き込んでみたらどうだろうか。

子供時代の私は、日記も書かなければ、感想文も書かなかった。しかし本を読みながら、その中の出来事に一喜一憂し、そのヴァーチャルな世界を味わって楽しんだ。読書は人を、この現実とは別の世界へ連れて行ってくれる。それは「夢を見ること」とどこか似ているかもしれない。だが、その「夢」は、ただの夢ではなくて、私たちに核となる「ある確かなもの」を与えてくれるように思う。その「確かなもの」とは何か、うまく表現することはできないけれど、それこそが私たちに生きる希望を与えてくれるのだと信じている。子供時代の私に「核」を与えてくれた読書、そこから湧いてきた「生きる喜び」に似た喜びを学生諸君にも発見してほしい。

ご案内します



白鷗大学マスコットキャラクター
「白いカモメのカーモ」

図書館を利用して、充実の大学生を送ろう

大学図書館は、皆さんがキャンパスライフを送る上で欠かせない存在です。色々な利用方法の中から、その一部をご紹介します。



本館

入口:本校舎
3号館1階
フロア:地下1階~2階

経営、教育、一般分野の資料を収集しています。



本館

どちらも利用
OK!

白鷗大学
総合図書館

資料の取り寄せが
できる!



分館

入口:東キャンパス4階
(2箇所)
フロア:4階~5階



分館

法学分野の資料を収集しています。



ひとりずつ学生証
をタッチして入館し
ましょう。

①本を借りるには? 【カウンター】

学生証と図書資料をカウンターへ。
学部生は5冊まで借りられます。



本館



分館



オーパック/OPAC(蔵書検索シ
ステム)で、所蔵情報が調
べられますよ。

②レポート作成したい 【ワークステーション】

空いている席を自由に利用できま
す。PCの操作に困ったら、ヘルプ
デスクに相談できるから安心。



本館



分館

③新聞を見たい 【新聞コーナー】

図書館には、沢山の種類の新聞があ
ります。「下野新聞」や「茨城新聞」、
「上毛新聞」などの地方紙、
「The Japan Times」といった英字新聞
もあります。



本館



分館

④雑誌を読みたい 【雑誌コーナー】

資格取得を目指す雑誌などもあり、お
気に入りの雑誌を見つけると、図書館
に来るのが楽しみになりますよ。



本館



分館

サクッと内容確認は
このソファで

⑤本館・分館 オススメスポット

【AV室】
授業の空き時間に
映画DVDを見て、
ちょっと息抜きTime



本館

法學系の雑誌や
判例が検索できて
便利です。



分館

【データベース専用席】

勉強したい



⑥友人と勉強するなら?

【グループ学習室】
【ゼミ室(分館)】
各部屋にホワイトボード
があり、ゼミの話し合い
などに使えます。



本館



分館

⑦1人で勉強したい

【個人学習室(本館)】

本館には個室が13室。
集中して勉強する時に
利用してください。



本館

⑧静かに集中したい

【パソコン・電卓禁止エリア(分館)】

分館には、静かな環境を保
つための、パソコン・電卓の
使用を禁止するエリアを設
けています。



分館